



**「創立百周年記念事業
実行委員会」立ち上がる！**



同窓会長
川島 照亮
(第46回奉)

暑さ厳しき折、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察いたします。

母校宗像高等学校は、大正八(一

九一九)年四月一日に福岡県立宗像中学校として創立されました。爾

来、宗像の地に根ざした学校として三年後の平成三十一(二〇一九年)には、記念すべき創立百周年を迎えます。本会も三万四千人に及ぶ同窓生を有する会となり、このたびの記念事業は百周年を寿ぐだけではなく、先輩諸氏が築いてこられた良き伝統をしつかりと受け継ぎ、次の時代を見据えた更なる発展の礎としていくことが重要であります。その為に「創

立百周年記念事業実行委員会」を二月七日に立ち上げ基本理念を明示し、事業推進に当たることにいたしました。実行委員会はその活動の中心となって先導役を果たすものであります。

昨年度から中高一貫校として新たな出発をした母校も、来年四月には宗像中学校三期生を迎える、千二百名が集う学び舎となります。以前から要望のあった「部活動振興設備の充実」「グランドの夜間照明」等の要望に応えるべく記念事業計画に鋭意取り組んでいるところです。

大きな節目となる百周年に向けての活動は、宗像中学校・宗像高等学校の「過去・現在・未来」を正面から捉えたものにしなければなりません。同窓の皆様も三年後の創立百周年を一人でも多くの方々に発信して頂き、発展し続けるわが宗像中学校・宗像高等学校に絶大なるご支援を賜りますよう衷心よりお願ひ申します。

私は平成二十八年の人事異動により、橋本校長の後任として四月に着任しました古川です。宜しく御願いします。

今年で創立九十八年を迎える歴史と伝統を誇る本校は、福岡地区で最初の県立中高一貫校として、不朽の大木に新たな若葉が芳しくすくすくと育っています。教育熱心な風土の宗像の地に創設された宗像中学校、そして宗像実業女学校・宗像

百年継承された
松明の輝きを



校長
古川 浩輝



第46号
2016年7月1日

発行所
宗像高等学校同窓会
川島照亮

印刷所
クワノフォーム印刷
福岡県立宗像高等学校
同窓会事務局
〒811-3436
福岡県宗像市東郷6-7-1
TEL.0940-36-4422



宗高から日本へ、
そして世界へ発信
Mitsukoshi High School Classmate Association

校訓

**質實剛健
自強不息**

平成27年度 大学等合格者数一覧

国 立 大	合計	現役	過年
埼玉大	1	1	
千葉大	1	1	
東京学芸大	2	1	1
横浜国大	2	2	
富山大	1	1	
広島大	1	1	
山口大	3	3	
愛媛大	1	1	
九州大	13	11	2
九州工大	20	10	10
福岡教育大	23	18	5
佐賀大	14	12	2
長崎大	10	6	4
熊本大	10	8	2
大分大	4	2	2
宮崎大	4	3	1
鹿児島大	10	4	6
國立大計	120	85	35

公 立 大	合計	現役	過年
静岡文化芸大	1		1
京都市立芸大	1	1	
京都府立大	1	1	
大阪市立大	1	1	
神戸市外大	1	1	
公立鳥取環境大	1	1	
下関市立大	6	6	
北九州市立大	21	16	5
九州歯大	1	1	
福岡県立大	4	4	
福岡女子大	4	4	
長崎県立大	5	5	
熊本県立大	3	3	
名桜大	3	3	
公立大計	53	47	6
国公立大統計	173	132	41



宗像高校は、平成27年度福岡県総体
学校対抗の部で第7位となり、福岡県
高等学校体育連盟から学校表彰を受けました。また、電気物理部がこれまでの自覚ましい活躍とその成果に対し福岡県教育文化表彰を受けました。
優勝 福岡県立宗像高等学校
2位 九州国際大学付属高等学校
3位 福岡工業大学附属城東高等学校
4位 福岡県立東筑高等学校
5位 九州産業大学付属九州産業高等専門学校
6位 福岡県立福岡高等学校
7位 福岡大学附属大濠高等学校

●陸上競技部 ●卓球部 ●テニス部
●水泳部 ●バスケットボール部(男女)
●バレーボール部(男) ●空手道部
●弓道部 ●ハンドボール部(女)
●ソフトテニス部(男) ●ラグビー部
●山岳部 ●総合運動文化部・新体操(女)

『県大会出場』

●電気物理部
『ロボカップジュニア2016』

●空手部
『第41回全九州空手道選手権大会』

●陸上競技部
『第35回全九州高等学校空手道新人大会』

●総合運動文化部
『国民体育大会第35回九州プロブック大会』

●電気物理部
『オーブンリーグ(男子4名)・ライトウェイリーグ(男子4名)・馬術競技(男子1名)』

●空手部
『第41回全九州空手道選手権大会』

●陸上競技部
『第35回全九州高等学校空手道新人大会』

●総合運動文化部
『国民体育大会第35回九州プロブック大会』

●電気物理部
『ロボカップジュニア2016』

●空手部
『第41回全九州空手道選手権大会』

●陸上競技部
『第35回全九州高等学校空手道新人大会』

●総合運動文化部
『国民体育大会第35回九州プロブック大会』

●電気物理部
『ロボカップジュニア2016』

●空手部
『第41回全九州空手道選手権大会』

●陸上競技部
『第35回全九州高等学校空手道新人大会』

●総合運動文化部
『国民体育大会第35回九州プロブック大会』

平成28年度 人事異動



感謝（離任挨拶）

橋本 浩

科学技術の発達で、「物」は軽薄短小となり便利になってきていますが、どんな時代でも「心」は重厚長大であるべきです。生徒には、未知なる世界に挑む力と仲間と協力しながら辛さや苦しさを楽しさに変える経験をこの宗像中学・宗像高校時代に培わねばならないと思っています。生徒達が、校訓「質実剛健・自強不息」を信条に育つことを願っています。

結びに、同窓会の皆様には、今後とも宗像中学校・高等学校への叱咤激励と温かい御支援を宜しくお願ひ申します。

改めまして今感じておりますのは、母校の生徒たちや先生方のすばらしさ、また保護者の皆様方をはじめ、地域の方々の学校教育活動に対しましてご理解とご協力、中でも同窓会の皆様方の有形無形のご支援ご声援のありがたさであります。そばでしか見えないものがあるのと同時に、離れてみなければ見えないものもござります。教頭時代を合わせますと、母校には六年間お世話になりました。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、宗像高等学校の皆様方のご健勝を祈念いたしまして離任の挨拶といたします。

改めまして今感じておりますのは、母校の生徒たちや先生方のすばらしさ、また保護者の皆様方をはじめ、地域の方々の学校教育活動に対しましてご理解とご協力、中でも同窓会の皆様方の有形無形のご支援ご声援のありがたさであります。そばでしか見えないものがあるのと同時に、離れてみなければ見えないものもござります。教頭時代を合わせますと、母校には六年間お世話になりました。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、宗像高等学校の今後益々の発展と、会員の皆様方のご健勝を祈念いたしました。

改めまして今感じておりますのは、母校の生徒たちや先生方のすばらしさ、また保護者の皆様方をはじめ、地域の方々の学校教育活動に対しましてご理解とご協力、中でも同窓会の皆様方の有形無形のご支援ご声援のありがたさであります。そばでしか見えないものがあるのと同時に、離れてみなければ見えないものもござります。教頭時代を合わせますと、母校には六年間お世話になりました。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、宗像高等学校の今後

ている状況況を報告、来年の総会で、百周年記念事業の承認を受け、翌八月に同窓会報と趣意書の発送といったスケジュールが提案・確認されました。主な内容としては、募金の受付は、平成二十九年九月から平成三十一年八月の二年間を予定していることと、平成三十一年七月の総会を創立百周年記念同窓会とすることや祝賀会の開催を予定していることなどが説明されました。今回、募金の口数表記や募金を税控除の対象にできるかどうか、また、委員会メンバーの年齢構成など多くの意見が出されました。そこで、これらの意見の調整や原案の作成などをを行うために小委員会を立ち上げ、そこに一任することが決められました。趣意書には、現役生が学ぶ姿や部活動に熱中するシーンを掲載し、宗高らしさを盛り込んだものにすることも小委員会に託されました。

最後に、次回実行委員会は二十九年一月の予定。この記念事業について一人でも多くの方々に事業の発信をしていただきよう事務局からお願ひし、閉会となりました。又、去る三月二十六日に小委員会を開催しました。実行委員長には川島同窓会長に就任いただき、小委員会のメンバーが副実行委員長になりました。

員六名と同窓会役員二名が)募金推進部を担当することになりました。記念事業が成功するかどうかは、偏に募金事業の成否にかかっていますので、責任の重さを痛感しているところです。早速四月十七日第一回部会を開催させていただきました。

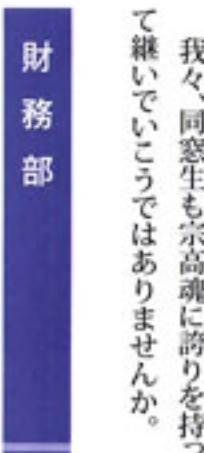
これまでたくさんの卒業生を輩出してきました。同窓生は、「神都宗像」の地に立地する誇りと古代より海外文化取入れの玄関口として培われてきた先進の精神を引継ぎ、宗像高校の校訓「質実剛健」「自強不息」を素に、地域・団体や会社などで幅広く活躍されております。

さらに二十七年度から県内でも五校に限られた中高一貫教育校として中学部を開校、さらに高いレベルの生徒を世に送り出すことを期待されおりました。

卒業生は、母校に対する愛着と高校生活の想い出がよみがえってきます。今、同窓生が34,000人いるそうです。それぞれの君が自分が置かれた場所で全力で頑張っていました。



広報部

池浦 順文
(宗高六回卒)

財務部

廣渡 孝代
(宗高十八回卒)

この度、宗像高校創立百周年記念事業実行委員会の財務部を担当させていただきました。



は、現役生が学ぶ姿や部活動に熱中するシーンを掲載し、宗高らしさを盛り込んだものにすることも小委員会に託されました。

そこで、これらの意見の調整や原案の作成などをを行うために小委員会を立ち上げ、そこに一任することが決められました。そこで、これらの意見の調整や原案の作成などをを行うために小委員会を立ち上げ、そこに一任することが決められました。そこで、これらの意見の調整や原案の作成などをを行うために小委員会を立ち上げ、そこに一任することが決められました。

その後、実行委員会の効率を図るために役割分担し、記念事業部、募金推進部、広報部、財務部の四つの部会に分かれて活動を行い、総務委員会で合意形成しつつ小委員会を運営していました。その後、これが確認されました。

三年間の思い

同窓会副会長
占部 真砂子
(宗高六回卒)記念事業部
宮部 武文
(宗高十七回卒)募金推進部
水上 開
(宗高二十七回卒)募金推進部長
水上 開
(宗高二十七回卒)

若葉が色濃くなり、夏に向かうこの季節、同窓生の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

宗像高校同窓会役員の一員となつて三年が経ちました。その間、先輩の方の母校に対する熱い思いや、母校のために残された有形無形の足跡の大きさに改めて責任の重さを感じました。

はじめて、改築された校舎を訪れたとき、設備のすばらしさに目を見た。運動部、文化部も県下ではベスト八位、十六位以内の位置で頑張っている部がいくつもあります。

百周年の記念事業の募金は、現役後輩の課外活動の環境整備に当て、人づくり教育の強化に寄与したいと考えております。

同窓生の皆さんのご理解、ご援助を賜りますようお願い致します。

一方課外活動として、電気物理部はロボカップ世界大会において日本を代表して三位に入賞、今年も二年ぶり四回目の出場権を獲得しました。運動部、文化部も県下ではベスト八位、十六位以内の位置で頑張っています。

百周年の記念事業の募金は、現役後輩の課外活動の環境整備に当て、人づくり教育の強化に寄与したいと考えております。

今年も希望に胸を膨らませ、多くの新入生が入学してきました。これからも毎年、新らしい仲間が増えてきます。彼らに夢を与える学舎であつてほしいと願っています。

ここ数年で多くの高校が創立百周年記念事業を計画し、目標達成に努力しています。

我々、同窓生も宗高魂に誇りを持つて継いでいこうではありませんか。

この美しい宗像高校を県下に誇ります。宗像の地で培かれた紳士は、力強い糧になつていています。

次の百年を目指して、何が必要で何ができるのか、記念事業実行委員会で論議されています。

僕達が宗高生だった時には想像もしなかつた中高一貫教育が始まりました。高校教育も時代のニーズに応えて、変化しているのでしょうか。

今年も希望に胸を膨らませ、多くの新入生が入学してきました。これからも毎年、新らしい仲間が増えてきます。彼らに夢を与える学舎であつてほしいと願っています。

ここ数年で多くの高校が創立百周年記念事業を計画し、目標達成に努力しています。

同窓会、会員の皆様はもちろん、ご理解ある有志各位のご協力を心からお願い申し上げます。

各委員の皆様と一緒に頑張っていきたいと思います。

ちは」の挨拶に、若者らしいさわやかさを感じたものです。高校生たちは、校長先生をはじめ、諸先生方の温かいご指導のもと、勉学にスポーツに大きな成果を挙げていると聞きました。校訓の「質実剛健」「自強不息」を、一人一人が心に刻み、まさに文武両道の精神で、高校生活を送っているのだと思います。

宗像高校は、平成三十一年に創立百周年を迎えます。この記念すべき年に向けて、同窓会としてもなにか記念事業をしたいと、一步踏み出しました。

伝統ある宗像高校発展のために、一人でも多くの方々の温かいご支援とご協力を頼ってやみません。

又、記念総会も盛大に執り行う予定にしておりますので、同窓会員の皆様には多数のご参加を切望いたしています。

この事業を成功裏に終らせるためにも会員の皆様の募金への協力を是非お願いいたします。

又、記念総会も盛大に執り行う予定にしておりますので、同窓会員の皆様には多数のご参加を切望いたしています。

この事業を成功裏に終らせるためにも会員の皆様の募金への協力を是非お願いいたします。

県大会、全国大会での頂点を目指して活躍してもらいたいと期待をして、頑つてあります。

皆さんに感謝され、喜ばれる施設建設に取り組んでいきたいと思っております。この施設を十分に活用して、県大会、全国大会での頂点を目指して活躍してもらいたいと期待をして、頑つてあります。

者、生徒の意見を参考に使い易くて、皆さんに感謝され、喜ばれる施設建設に取り組んでいきたいと思っております。この施設を十分に活用して、県大会、全国大会での頂点を目指して活躍してもらいたいと期待をして、頑つてあります。

各回だより

宗中22回生 昭和20年卒業

私達中学二十二回生は、平成二十八年二月二十三日神湊の和風レストラン「未広」で恒例のフグ料理で同窓会を開催しました。

十一名の参加で戦中戦後の想い出に話ははずみ、近況報告が中心になつてきました。

中西君に健康維持の大切さを話していただき、来年も元気に出席出来る事を肝に銘じて、散会しました。



宗中23回生 昭和21年卒業

宗中24回生 昭和22年卒業

平成二十八年四月十六日(土)、恒例になっている宗中十七会(昭和十七年入学)総会を、昨年に続き宗像市江口「花わらび」で開催しました。

今年は十二名参加で昨年と同数ですが、毎年参加者が減つていくのは已むを得ないことはいえ、やはり寂しさを感じます。

総会行事に入つて先ず物故者への黙祷を捧げた後、協議に入り、平成十六年間初代会長として会の結束力と存在感を確かなものにして来て、昨年四月に永眠、今は亡き和田豊氏の功績を讃え、存在の大きさを感じ取りながら、暫らく空席にしていた後任者を推せんし、選任しました。また、宗高創立百周年記念事業の取り組みについて予告説明し、了承した後、私たちが来年米寿を迎えることから、その祝行事を来年の総会時に催し、その内容については執行部に一任ということで確認し、それ

までに皆さん健勝であることを誓い合つて、乾杯に移つた次第です。

参加者のそれぞれの思いとして、この会がいつまで続くか? 続いて欲しかとの願いを持つて来年に期待しながら送迎バスに乗車、帰路に着きました。

(文責 門司)



宗女17回生 昭和23年卒業

今年は、今までにない寒さで年老いた身には、少々厳しく感じました。私達十七の会は、年に二回集まつ

て、健康の確かめ合い、友達の情報交換、そして老化予防等々なつかしく、楽しく語り合っています。時はめぐり、昭和二十年頃の学生生活は、何もない、ないないづくしの厳しい時代でした。その厳しさをくぐり抜け、耐えることの大切さ、根性を学びました。母校宗像高校は、大きく躍いて、文武両道、各个方面に、大きな成果を挙げています。

宗高2回生 昭和28年卒業

2016年7月1日

「ひたひたと 春の波打つ 韶灘」

恒例の「二十年会」を、四月三十日鐘崎のひびきで開催しました。三時間余りをなごやかに歓談と歌で過ごしました。

我々同級生にとって宗中・宗女に入学した「昭和二十年」という年ほど、生涯を通して忘れられない年はありません。大戦の最中に入学し、その年の八月に終戦になり、学校は占領軍の管理下におかれました。だが戦争のない平和な二学期を迎えたのです。

当時の様子は、それぞれに時代の転換期を感じながら夢のような日々を送ったのではないかと思います。

当時の様子は、現代に生きる中学生には想像する事ができないでしょう。食糧事情は厳しく、弁当を持参する事さえ難しい時代が訪れました。弁当代わりに「さつまいも」持つてみると、「あれ、芋だと友達が言なが遠慮なしに取り合い、あつといふ間に母の愛情こもった芋はなくなりました。

空腹でも昼休みには窓からとびおりて草野球を楽しみ、授業に間に合った。当時の同級生達は、戦争に負けたというような悲壮感をもたずむし



ろのびのびとしていたように思います。

会話もはずむ中に自慢のなどを披露する事になり、この夜は女性が口火を切りました。その素晴らしい歌声に大拍手が起ると、男性も負けて声を閉じる事となり、参会者の一層の健

康を祈りながら散会となりました。「人は歳月を重ねたら老いるのでない、理想を失つたときに老いるのではない」、理屈を失つたときに老いるのである「サムエル・ウルマンの写しを

配布しましたが、その意味を日常の中で吟味していただくようになります。

(世話人 K)

宗高3回生 昭和27年卒業

早春の三月、第四十七回目の同窓会をホテル日航福岡で開催した。会場として利用するホテル日航福岡は

一昨年から連続して三回目になる。参加者は今回三十三名で年々少なくなるつており、八十歳を過ぎるとこ

れもやむをえないことと思っています。一時は解散の声もあったが同窓生の意気により参加者の多少に拘わらず継続することになっている。欠席者の状況は足・腰・膝などの症状により歩行困難等体調に支障が出ているものの元気で何とか日常を過ごしている。これが老化と言ふものではないだろうか。

川島同窓会長の挨拶で母校宗像高校の近況報告、阿部君の元気な声での乾杯に続き懇親へと入った。宴席のなか「又吉直樹による今話題の世界遺産候補「神宿る島」宗像沖ノ島と関連遺産群の沖ノ島を紹介するビデオを堪能した。

最後に盛会のなか校歌齊唱・万歳三唱し、次の宗像での開催を楽しみに再会を約して散会した。(文責 滝口)



宗高4回生 昭和28年卒業

恒例の第四回生の同窓会を四月二十一日(木)に、割烹旅館「革杏弥太郎」で開催しました。参加者は四十一名でした。当日は本振りの雨でしたので、不参加もあるかと心配しましたが、予定していた全員が出席

されました。傘寿を過ぎた老齢であつても、ますます壯健な仲間の集まりであつて、盛大にかつ賑やかに開催することが出来ました。

記念撮影をして、新しく判明した物故者に対して黙祷を捧げたのち、松尾政信さんと中村辰徳さんの二人で祝謡を披露して会場を引き締めました。そして遠く愛知県から馳せ参じた恵比進さんの乾杯の音頭で宴会が始まりました。円形のテーブルを回んでなごやかな歓談が始りました。六十年前の高校の先生や教室での思い出話や、これから余生での病気の対応の仕方などで会話も盛り上がり楽しい同窓会を過ごすことが出来ました。予定した時間の経過が惜めしいほどでしたが、最後に全員で校歌を齊唱しました。閉会は昨年に引き続いて名古屋から見えた西村明さんの万歳三唱で会合を締めくくりました。

傘寿も過ぎてとても昔が懐かしく思われます。これから先も、たとえ会合がなくともお互いに会う機会を増やしたいものと全員で確認し合って、心残りな同窓会場を後にしました。

（文責 片山雄二）

宗高10回生

昭和34年卒業

追記、平成二十八年一月二十三日、

最終の会計報告と納会、慰労会を幹事、世話人で開催。剰余金2万4千359円は、母校の奨学金に寄付する事になりました。ご了承下さい。各人健康寿命を伸ばし、それぞれの天寿を全うしようと誓いました。

秋の親睦旅行は、十月十九日～二十日で大分の竹田市を訪れました。

出席者は、男性十三名女性十八名で、からりとした好天の下、四十人乗りの中型バスに揺られて談笑しながら行程を楽しみました。

一日目のメインは、くじゅう花公園です。園内の木陰のベンチで三々五々お弁当を広げて、青空と久住の山並みに映えるコスモスやマリーゴールド・秋のバラなどをゆっくりと巡つて過ごしました。

宿泊先は、長湯温泉「翡翠の庄」です。宿に着いた後、ラムネ温泉へ出かけました。ぬるい炭酸泉に手足を



二〇一五年七月二十六日、ユリックスでの総会に十一名出席し歓談しました。第二次会は、王丸のロイヤルホストで茶話会をして名残を惜しました。

秋の親睦旅行は、十月十九日～二十日で大分の竹田市を訪れました。

出席者は、男性十三名女性十八名で、からりとした好天の下、四十人

乗りの中型バスに揺られて談笑しながら行程を楽しみました。

宗高10回生 関東地区

昭和34年卒業

二〇一五年七月二十六日、ユリックスでの総会に十一名出席し歓談しました。第二次会は、王丸のロイヤルホストで茶話会をして名残を惜しました。

秋の親睦旅行は、十月十九日～二十日で大分の竹田市を訪れました。

出席者は、男性十三名女性十八名で、からりとした好天の下、四十人乗りの中型バスに揺られて談笑しながら行程を楽しみました。

一日目のメインは、くじゅう花公園です。園内の木陰のベンチで三々五々お弁当を広げて、青空と久住の山並みに映えるコスモスやマリーゴールド・秋のバラなどをゆっくりと巡つて過ごしました。

宿泊先は、長湯温泉「翡翠の庄」です。宿に着いた後、ラムネ温泉へ出かけました。ぬるい炭酸泉に手足を



伸ばして浸かっていると体のまわりに小さな泡が付き疲れが癒されるようでした。夕食は、名物のエノハをメインに自家製のハムなどを堪能しました。宿泊は、それぞれの離れでゆつくりと過ごすことができました。

二日目も晴天に恵まれて、城下町竹田や岡城址を散策して原尻の滝で昼食、帰りは阿蘇から日田に出る途中で大観峰により雄大な景観にしばしば忘れていました。古賀SAのレストランで夕食をとり、再会を約束しながら帰途につきました。

（文責 永鶴）

追記、平成二十八年一月二十三日、最終の会計報告と納会、慰労会を幹事、世話人で開催。剰余金2万4千359円は、母校の奨学金に寄付する事になりました。ご了承下さい。各人健康寿命を伸ばし、それぞれの天寿を全うしようと誓いました。

秋の親睦旅行は、十月十九日～二十日で大分の竹田市を訪れました。

出席者は、男性十三名女性十八名で、からりとした好天の下、四十人

乗りの中型バスに揺られて談笑しながら行程を楽しみました。

（文責 永鶴）

の経過が惜めしいほどでしたが、最後に全員で校歌を齊唱しました。閉会は昨年に引き続いて名古屋から見えた西村明さんの万歳三唱で会合を締めくくりました。

（文責 片山雄二）

宗高5回生

昭和29年卒業

今年も、恒例の同窓会懇親会（十五回最終回）を十月十七日（土）国民宿舎「ひびき」で開催、最終回と云う事もあって、例年よりも約十名多い七十名の元気な顔が参集しました。その中には、久しぶりの方や、関東地区からも大変懐かしい顔が揃いました。一方、鬼籍に入る方も除々に増えている事も確かです。自然の理なので致し方が有りませんが、寂しい限り。



今年も、恒例の同窓会懇親会（十五回最終回）を十月十七日（土）国民宿舎「ひびき」で開催、最終回と云う事もあって、例年よりも約十名多い七十名の元気な顔が参集しました。その中には、久しぶりの方や、関東地区からも大変懐かしい顔が揃いました。一方、鬼籍に入る方も除々に増えている事も確かです。自然の理なので致し方が有りませんが、寂しい限り。

今年も、恒例の同窓会懇親会（十五回最終回）を十月十七日（月）～十八日（火）の予定で山口・九州内で無理なく行ける所で計画いたします。みなさまの参加を心よりお待ちしております。

（幹事一同）

今年は、十月十七日（月）～十八日（火）の予定で山口・九州内で無理なく行ける所で計画いたします。みなさまの参加を心よりお待ちしております。

（幹事一同）

後二、三年は、親睦旅行を続けたいと思っています。みなさんしっかりとください。

（幹事一同）



第12回 宗高三八会 同窓会
平成28年3月8日

今回は六十六名の参加で、前回の古稀祝賀同窓会には及びませんでしたが、遠くは関東、関西他から十二名の参加がありました。久しぶりの再会に各々自己紹介、近況報告等して競り、お互い懐かしい思い出話等に会場全体が大いに盛り上がりました。

今回は、歓談とお食事を主体に企画しましたが、予定の時間があつと言ふ間に過ぎる程、楽しい会でした。

お互い多忙の中、元気にこの会に参加出来たことを喜び合い、次回二年後の再会を誓って岩佐君による博多一本締めで閉会としました。

最後になりましたが、宗像高校百周年に向かって、益々発展している事を、誇らしく嬉しく思いました。毎の写真を手にし、次の予定に向かいました。

(宗像高校三八会 世話人一同)

宗高15回生

昭和39年卒業

昭和三十九年卒業生の同窓会を平成二十七年十一月二十二日(日)に遠賀郡岡垣町の「ふどうの樹」野々庵で開催しました。全員揃ったところで、同会場の中庭にて記念の集合写真を撮った。

クラス単位でテーブルに着いて、三年ぶりに再会で賑わった。その後それぞれ好きなところへ移動し、「君は誰?」「あれからどうした?」また昔の写真を見て「この人誰かわかる?」など高校当時の話や近況、家族のこと、健康のことまた瑞宝章を受章し



宗 像 高 校
15 回 卒 業 生 同 窓 会
希

今年から後期高齢者の仲間入りですが、参加の方はみな元気で、来年五月十四日に都立神代植物公園、深大寺水神苑での再会を誓つて散会しました。

(当番幹事 大塚タツ子、中川良恵、嶺清光)

宗高12回生

昭和36年卒業

梅の香り漂い始めた二月七日、昭和三十六年卒業生の同窓会を「博多サンヒルズホテル」で今年は少なめの四十一名が出席し恩師高田先生を開み旧知を暖め合いました。

八十歳をとっくに過ぎた恩師曰く、私たちは未だに毎年同窓会を開いて友の安否を確認し、共に元氣である事を称え合っています。

同窓会を数年おきとかにすると忘れられ消滅するので毎年開催すべしとハッパをかけられました。

数年ぶりの再会に我が身の変貌は気づかず、相手に変わったねえ!と大笑いやハグの連続で会場は爆笑・爆笑。反面毎年数名の訃報の知らせを聞くようになり、寂しさを感じます。でも、毎年関東・関西・中国地方等多くの出席者が心待ちにされて出席頂く事は有難く、又、返信葉書のコメントに友の近況を知り、次回は必ず出



平成27年度同窓会



宗像高校 昭和37年卒同窓会

平成二十七年十月二十四日、暑さを感じる秋晴の中、恒例の第十三回卒業同窓会を岡垣町の「ふどうの樹」野々庵の於で開催した。

記念写真撮影、物故者追悼黙祷その後総会行事に入り議事審議そして「十三回卒業生友情の鍵」を次年度三十三回を迎えた今回同窓会は、

恩師の先生方の御臨席は無かつたが参加総数五十五名で、卒業以来半世紀以上経過したこの度、始めての参加者やなじみの顔が揃い、かけがえのない青春時代の三年間を共に過ごした旧友達が懐かしい思い出や近況について親しく語り合い杯を重ねた。

最後に母校の益々の発展を祈念しながら校歌を齊唱し、声高らかに万歳を三唱して、再会を誓いながら散会する。

皆様の御協力に感謝いたします。
(当番幹事一同)

宗高14回生

昭和38年卒業

平成二十八年三月八日、博多の都ホテルに於いて、第十二回宗高三八会同窓会を開催しました。

開会に先立ち、物故者追悼の黙祷を行い、引き続き大きな声で校歌を齊唱しました。

平成二十七年十月十一日(日)、宗像市「玄海ロイヤルホテル」に於いて、昭和四十九年三月卒業生学年「還暦同窓会」を開催いたしました。長谷川慎君を幹事代表に、幹事として、高校時代のビデオ映像「想い出

宗高25回生

昭和49年卒業



取り合いながら、多くの同窓生が集まれる学年同窓会の機会を作りたい。(学年同窓会実行委員一同)

当日は、同窓生八十二人が参加、来賓には野球部監督の大津武俊先生をお迎えしました。大津先生の乾杯でスタートしました。

来賓として三年七組担任の福永義臣先生も予定していましたが、急な用件で欠席されたのは残念でした。

同窓会は、物故者への黙祷の後、大津先生の乾杯でスタートしました。会では、初めてお迎えした大津先生との懇談や、東京・関西両支部に所属している同窓生の近況についての情報交換あるいは孫の話など、あ

して毛利彰信君、横山祥子さん、北園香さんを中心に二十五回卒業生(昭和四十九年三月)還暦同窓会の準備、企画、運営を行いました。あわただしい中での準備でしたが、各クラスの幹事の皆さんの協力の素晴らしさ働きかけと協力とまとまる力…この学年は、宗像高“愛”的すごさを改めて感じました。各クラスの代表で幹事を快く受けたいため、名簿の作成や参加の依頼、そして当日の運営のお蔭で、二二名どたくさんの同窓生の参加となり、大変感謝しております。

恩師の先生方は他界されている方やご高齢になられている方も多い中、三年八組を担任された小室宏孝先生に出席いただきました。

代表としてご挨拶もいただき、小室先生が七〇歳、これからもますます元気で長生きしていく方へ元氣で長生きしていたかねばなりません。また、この同窓会の準備で、各クラスの名簿を作成していく上

で、亡くなられた同窓生も十三名おられることがわかり、黙祷を捧げ、冥福を祈りました。

初めて参加した同窓生を多く、再会を懐かしむ声…。実行委員の毛利君の発案で全員の高校卒業時のアルバム写真と名前(名札)の準備そ

(代表幹事一同)



本当にありがとうございました。
がとうございました。

のアルバムが会場のスクリーンに映し出されると当時の面影が残る?微塵も残らない姿形?脳やかな懐かしさいっぱいの話があちらこちらで数多く聞かれました。

余興として、準備した豪華景品、同窓生の人たちで待ち寄せた品々を「富くじじゃんけん」大会も行われ、盛会の内に終了することができました。

各人この会の開宴前に撮影した全体の記念写真を手に、宗像高校校歌の合唱。久しぶりのたくさんの中学生との再会、懐かしさと、嬉しさで心が弾んで大いに若返った。そして、同窓生の絆が深まつた一日だったよう

に思いました。

これから第二の人生、第二の青春のスタート。お互いに健康に気を付けて、再会を約束しながらの閉会となりました。

参加頂いた皆さん、また、参加できなかつた皆さんからのメッセージも嬉しいものとなりました。

**宗像高校第25回生「還暦の祝い」同窓会**

た人がいるなどと話が弾み盛り上がった。また、在校生に対する奨学金の寄付に対しても皆さん快くたくさん応じていただき、後日、宗像高校に贈呈しました。

盛会のうちに三年後の再会を約して、閉会しましたが、同会場での二次会にも大半の人が参加しました。更に、三次会はそれぞれのクラスで実施したようですが、同窓会に参加できなかつた人も参加したと聞いております。

宗高19回生

昭和43年卒業



平成二十七年八月一日、三年ぶりの同窓会を福岡市のホテル日航福岡で開催しました。

当日は、同窓生八十二人が参加、来賓には野球部監督の大津武俊先生をお迎えしました。

来賓として三年七組担任の福永義臣先生も予定していましたが、急な用件で欠席されたのは残念でした。

宗高24回生

昭和48年卒業



○ 東京での学年同窓会開催

これまでの学年同窓会は、地元福岡で開催してきた。遠方の同窓生の中には、なかなか福岡に帰りにくい

ちこちのテーブルで話が盛り上がりいました。

美味しい料理と飲物を堪能しつつ、気がつけば、予定した三時間が経過。最後に校歌を参加者全員で齊唱し解散しました。

次回は、二年後または古希を迎える四年後に開催する予定です。

(文責 吉井勝敏)

期日は平成二十七年十一月二十一日(月)までの二泊三日、参加形態は自由。一日目だけ参加、一日目、二日目参加などいろいろな参加パターンを取り入れた。

福岡・山口から参加した者二十四名、関西・関東から参加した者十四名の三十八名が東京に集合した。

十一月二十一日(月)十四時三十分より、「チサンホテル浜松町」に

於いて、学年同窓会を開催した。会場の手配及び二次会については、関東在住の同窓生が手配してくれた。高校卒業後初めて会う顔も多く、自己紹介の時は、久々に会う同窓生の話に聞き入っていた。

福岡からは、一人ひとりに宗像高校のパンフレット・クリアファイル、博多めんべいを記念に持参した。また、関東の出席者からは、高校時代の修学旅行の折、出光興産株式会社からいただいた榮太郎飴を思い出し、わざわざ購入して配ってくれる

福岡からは、一人ひとりに宗像高校のパンフレット・クリアファイル、博多めんべいを記念に持参した。また、関東の出席者からは、高校時代の修学旅行の折、出光興産株式会社からいただいた榮太郎飴を思い出し、わざわざ購入して配ってくれる

箱根では、開所や資料館を見学しました。みんなが断片的に持っている高校時代の修学旅行の記憶をつなぎ合わせながら、過去(高校時代)の行動や修学旅行の文集を見つめ直し、感慨にひたる時間となつた。夜は箱根湯本ホテルに一泊し、ゆっくり温泉につかりながら、ここでも思い出を語り合つた。三日目の朝、十国峠にてわざかに顔を出した富士山を拝み熱海へと向かつた。昼食後、熱海駅で東京方面に戻る者、九州方面に帰る者と別れを惜しんだ。

二日目・三日目は、観光バスを貸しきり、高校時代に行つた修学旅行先を訪ねた。お台場見学・横浜中華街での昼食、そして、修学旅行で行った箱根・熱海へ…

一日目で別れる人もいたが、場所をえ時間を惜しむかのようにみんなで語り合つた。

ので、東京で開催できないものだろうかという声もあつた。

同窓会実行委員会を何度も開き、検討する中で、修学旅行先を訪ねる学年同窓会を東京で開催してみようという運びになつた。名付けて「第7回学年同窓会 in 東京」リバイバル修学旅行」。

期日は平成二十七年十一月二十一日(月)までの二泊三日、参加形態は自由。一日目だけ参加、一日目、二日目参加などいろいろな参加パターンを取り入れた。

福岡・山口から参加した者二十四名、関西・関東から参加した者十四名の三十八名が東京に集合した。

十一月二十一日(月)十四時三十分より、「チサンホテル浜松町」に



宗高同窓会関西支部総会

関西支部総会と懇親会を二〇一五年十一月七日(土)にホテル阪急インターナショナル(大阪梅田)にて開催いたしました。

同窓会本部より川島会長、占部副会長、竹井副会長、恒任監査委員、石松事務局、母校より橋本校長、大原書記長がご来賓としてご出席頂きました。また、東京支部から昨年に引き続き、嶺清光氏(三十四年卒)、田中桂子氏(三十四年卒)の二名が来訪されました。今回の参加者は、人數六十名(男性二十七名、女性二十三名)となり、昭和二十六年(一九五一年)卒から平成二十七年(二〇一五年)卒と幅広い世代が集う懇親会となりました。

懇親会では、まず全員で物故者黙祷をささげました。それから、安部支部長の挨拶、細川会計監査からの会計報告の後、役員改選、同窓会会长川島会長の挨拶、母校の橋本校長から中高一貫校開校の説明、教育目標や現役後輩たちのすばらしい活躍のお話を聞きました。

懇親会では、乾杯のあと、今回は、九州弁(宗像弁)で会話することになりました。また、学生参加者(六名)の自己紹介も宗像弁で行われなり、皆さん戸惑いながらも楽しんでいました。また、学生参加者(六名)の自己紹介もあり、演奏曲あてをして楽しみました。その後は、毎年恒例のビンゴゲームを行い、皆さん郷土宗像特産品の賞品をもらいました。

長、大原書記長がご来賓としてご出席頂きました。また、東京支部から昨年に引き続き、嶺清光氏(三十四年卒)、田中桂子氏(三十四年卒)の二名が来訪されました。今回の参加者は、人數六十名(男性二十七名、女性二十三名)となり、昭和二十六年(一九五一年)卒から平成二十七年(二〇一五年)卒と幅広い世代が集う懇親会となりました。

関西支部役員・幹事

今年の関西支部総会・親睦会は、二〇一六年十一月十二日(土)に決定しています。昨年と同じ場所(交通便利で食事がおいしい)ホテル阪急インターナショナル(大阪梅田)で開催いたします。

三十二回目の総会となります。関西地区のみならず、九州地区や関東地区からの参加者もいらっしゃいます。同窓会報を見られた皆様、是非ご参加しませんか?ご連絡頂ければ卒年の学年幹事を紹介させていただきます。

ご連絡頂きたいと思います。

連絡先: 平今 総務担当

電話: 071-11244-18233

携帯: 080-16220-17893

第30回関西支部

総会・懇親会

関西支部総会と懇親会を二〇一五年十一月七日(土)にホテル阪急インターナショナル(大阪梅田)にて開催いたしました。

長、大原書記長がご来賓としてご出席頂きました。また、東京支部から昨年に引き続き、嶺清光氏(三十四年卒)、田中桂子氏(三十四年卒)の二名が来訪されました。今回の参加者は、人數六十名(男性二十七名、女性二十三名)となり、昭和二十六年(一九五一年)卒から平成二十七年(二〇一五年)卒と幅広い世代が集う懇親会となりました。

最後に皆で宗高校歌を歌い、全体の集合写真を撮り、また来年の再会を誓いました。そして更にたくさんの方に参加していただける関西支部でありたいと願い、閉会いたしました。あつという間の三時間でありました。

関西支那旅行《小豆島》観光旅行

関西支部の役員や、学年幹事など

の、より一層の親睦を深めるため、七月に一泊二日で旅行を行いました。参加者は、九名で行われました。姫路港からフェリーに乗り、いざ、小豆島へ!寒霞渓、オリーブ園など観光を行いました。寒霞渓で見る景色はちょっと雲が多く崖下は見えませんでしたが、それでも足がすくみ前に進みませんでした。また、ホテルの前が海で釣りもやってみましたが。キスをたくさん釣って酒のつまみにするつもりでしたが、結果は「坊主」(残念:次回に再チャレンジかな)。

二日目は、お寺の「千年杉」を見て自然の息吹を感じました。(二十四の瞳映画村)では懐かしい映画を見て楽しみました。

二〇一六年度も計画しますよ。参加してみたいと思われる方は、是非連絡先: 川端事務局長 電話: 0798-2613818 携帯: 090-1853310366



日時: 平成二十七年十一月一日
(日) 十二時~十五時
会場: ホテルグランパシフィック
LE DAIBA

出席者: 男八十七名 女四十名
来賓: 大学生五名
合計: 一百三十七名

第32回東京支部 総会・懇親会

各支部だより

秋らしい晴天の中、宗像からの同窓生、ご来賓も含めた一百三十七名で今年も総会・懇親会が開催されました。

去年よりも二十名も多い参加者でした。特筆すべきは、五人の現役大学生が参加してくれた事です。

総会は瀧口支部長の開会ご挨拶から始まり、同窓会会長の川島照亮様、校長の橋本浩様よりご挨拶を頂戴しましたが、今年の話題は何と言つても中高一貫教育のスタート。

宗像中学第一期生が入学したとのこと。宗中から宗高へ、そして日本から世界へと活躍の場を広げる後輩の成長を見守ると共に、その後輩たちに我々は何が出来るかを考え、実行して行く事が大切であると川島会長からのメッセージでした。

次の大きな話題は、「神宿る島宗像・沖ノ島と関連遺産群」が世界文化遺産二〇一七年の登録を目指す国際候補に決定したことでした。沖ノ島での禊のシーンは一躍有名になりましたが、世界遺産に決定したあかつきには宗像の知名度が瞬く間にアップし、宗像市周辺は賑わいを見せる事と思います。そんな折に、「あ

の宗像高校を「一目見てみたい」と言う訪問客が出てくると嬉しいのですが。

話題と言えば、宗像大社前宮司の高向様からは、世界陸上北京大会で活躍したサニブラウン・アブデル・ハミド選手のお母さんが我らの同窓生である旨も紹介されました。今回、そのお母さんであるサニブラウン・アブデル・ハミド選手の欠席せざるを得なかつた事は残念でした。総会は昨年に続き、橋本校長への奨学金贈呈で終了。廣島文武様の乾杯で懇親会へと移りました。懇親会では、当番幹事の四十四年卒と五十一年卒の有志十二人で、「博多にわか」十二題を披露し、笑いを誘いました。余興終了後には配ったにわかせんべいは数が足らず、笑いを誘いました。余興終了後も拍手が多かったのは現役大学生五人がステージに上がった時です。

東京支部同窓会史上初めての出来事だったようで、大先輩方は勿論、全参加者が大歓迎をしてくれました。来年も出席を約束してくれました。初の試みだったのですが、懇親会以降は「宗像弁でしゃべりましょ



う」という事にしました。が、筆者を始め、殆どの方が宗像弁を忘れておられただよで、あまり方言は聞こえられました。ゲストにお呼び出され、ギターとフルートの演奏を聴き後に配ったにわかせんべいは数が足らない位の人気でした。しかし今回最も拍手が多かったのは現役大学生五人がステージに上がった時です。

五人がステージに上がった時です。東京支部同窓会史上初めての出来事だったようで、大先輩方は勿論、全参加者が大歓迎をしてくれました。来年も出席を約束してくれました。初の試みだったのですが、懇親会以降は「宗像弁でしゃべりましょ

う」という事にしました。が、筆者を始め、殆どの方が宗像弁を忘れておられただよで、あまり方言は聞こえられました。ゲストにお呼び出され、ギ



財団法人 奨学金事業について

一般財団法人 福岡県立宗像高等学校後援会 代表理事 伊豆 善也

財団法人 福岡県立宗像高等学校後援会は、昭和6年、当時の旧制中学校の後援を目的として周辺町村長を中心とする地域の有志により設立された現文部科学省認可の財団法人です。当初は、旧制中学校発展に資するため、土地の取得や、職員住宅の確保等を主な事業としていました。その後、学校諸施設に対する援助等を主な事業としてきましたが、平成15年度からは新たに奨学事業を発足し、皆様のご支援により毎年10名程度の生徒に奨学金を給付いたしております。奨学生の皆さんには、経済的困難な状況に負うことなく勉学を続けることが出来、自己の目標達成に向けて頑張ることができました。

なお、平成27年度は各方面から240万円余のご寄付をいただきしております。ここにご寄付をいただいた方のご氏名を掲載させて頂き、本紙面をお借りして改めてお礼に代えさせていただきます。

本財団法人は、今後とも在学生の奨学支援に力を注いで参る所存ですのでご支援の程よろしくお願い申し上げます。

(一財)福岡県立宗像高等学校後援会事務局

宗像高等学校事務長 後藤 薫 〒811-3436 福岡県宗像市東郷6丁目7-1 TEL 0940-36-2019

**奨学金、
ありがとうございました。**

28年3月までに
ご寄付頂いた方

- ・宗中8回生 壱岐 貞實(旧職員)様
- ・松岡 フミ(旧職員)様
- ・宗高25回生 北園総合建設 代表 北園 淳様
- ・宗高23回生 加藤 和久様
- ・宗高7回生 櫻井 様、松井 様、矢野 様
- ・平成27年度同窓会総会当番幹事代表 楠 芳哉 様
- ・宗高18回生 同窓会実行委員会 様
- ・宗像高校第15回生一同 様
- ・宗高19回生 高向 正秀 様
- ・宗像高校同窓会関西支部 様
- ・宗高6回生 新海 憲昭 様
- ・宗像高校第5回生一同 様
- ・宗像高等学校同窓会ゴルフ実行委員会 様
- ・宗高19回生 古瀬 保子(東京支部副支部長)様
- ・宗像高校第25回生一同 様
- ・宗像高等学校同窓会 様
- ・宗像高校同窓会 東京支部 様
- ・宗像高等学校父母教師会 様

終身会費・年会費納入者一欄

平成27年4月1日から平成28年3月31日現在分を掲載
・終身会費:10,000円 ・年会費:1,000円

平成28年度 宗像高校同窓会 総会・懇親会

本 部

日 時：平成28年7月31日(日)

総 会 11:00～

懇親会 12:00～

会 場：宗像ユリックスイベントホール

[宗像市久原400番地]

会 費：一般 3,000円 (学生 1,500円)



送迎(シャトルバス運行)について

当日、JR東郷駅～ユリックス間運行

東郷駅のり発 10:00～12:00

ユリックス発 懇親会終了後～15:30

平成28年度 当番幹事

高校32回(昭和56)卒業生

高校42回(平成3)卒業生

高校52回(平成13)卒業生

なお、当番幹事以外でも
ご協力いただける方は、
同窓会事務局までご連絡
ください。

同窓会事務局：TEL.0940-36-4422

各支部



東京支部

日 時：28年10月30日(日) 12:00～
場 所：ホテルグランパシフィック LE DAIBA
(東京都港区台場2-6-1)
問合せ先：事務局長 太田 哲雄
048-969-4119 (090-2319-1912)

関西支部

日 時：28年11月12日(土) 13:00～
場 所：ホテル阪急インターナショナル
(大阪市北区茶屋町19-19)
問合せ先：事務局長 川端 正
0798-26-3828 (090-8533-0366)

北九州支部

現在、総会日時については検討中です。
問合せ先：事務局長 越智 大和
093-601-5059

福岡支部

日 時：28年11月6日(日) 13:00～
場 所：ホテルオークラ福岡
(福岡市博多区下川端町3-2)
問合せ先：事務局長 中島 瞳雄
092-412-5332 (090-9479-8375)

宗像市役所支部

現在、総会日時については検討中です。

※各支部同窓会の総会に参加してみようと思われる方は、どの地域からでもご参加いただけます。
ぜひ、事務局までお問い合わせください。多くの方々のご参加をお待ちしています。

第23回

ゴルフ大会



日 時：平成28年8月20日(土)

会 場：福岡国際カントリークラブ

参加費：3,500円

参加費のうち、500円は奨学金に寄付させていただきます。

申込締切：平成28年8月2日(火)

申込方法：宗像高校同窓会事務局
(Tel.0940-36-4422)

申込は一人でも出来ますが、出来れば
1組単位でお願いします。